

2012 園長だより7月

大正 10 年の子どもたち

＝保育日誌に記された園児の日常＝



園の保存文書の中から、大正 10 年の保育日誌が出てきました。

もう 91 年も昔のことです。善隣幼稚園の創立が大正 7 年ですから、3 年目の記録です。

当時、幼稚園は珍しく、見たこともない人が多く、なぜ保育料を払って子どもをそんな場所へ入れるのかと考える親もいたそうです。

そんな時代ですから、園児の数は三十数名程度です。

「6月20日 月曜 晴れ 出席者 35名 近宗公園にて遊んできた」

「6月25日 土曜 雨天 母の会 雨天に関わらず愛児のために集われたお母様方 15人、なかなかの盛会なりき。園児の律動も遊戯もよくできた」

「7月20日 水曜 晴れ 出席者 24名 明日からは夏休み、天井に久しく飾っていた桜花と小旗をそれぞれに分け歩いた」

「9月3日 土曜 晴れ 出席者 22名 今日土橋愛友幼稚園の生徒らといっしょに旗行列をして大そう疲れて帰った」

聞かない言葉がいくつかあります。近宗公園は、当時の豪商近江屋宗兵衛の造った公園で国府公園の辺りです。律動は今でいうリトミック、愛友幼稚園は同時期に創立され昭和 45 年まで元真地もとまぢにあった幼稚園です。

愛児のために集うお母さんの愛情は、昔も今変わらないことが伝わってくる日誌でした。

園長 今泉文彦